

平成 29 年度創設・育成研修会



平成 30 年 2 月 3 日（土）、防長苑を会場に、「第 3 回総合型地域スポーツクラブ創設・育成研修会」を開催しました。今回は、岡山県「スポーツ・レクリエーション倶楽部くせ」のクラブマネージャー前田江美氏と広島県「NPO 法人みわスポーツクラブ」の事務局長尾

香織氏のお二人を講師にお迎えし、クラブ創設の経緯や持続するための工夫などについて、実践を基に発表していただきました。前田氏は、toto 助成が終了した後、2 度に渡る会費の見直しを経てきたことを通して、事務局雇用についての課題を紹介されました。長尾氏は、補助金や委託事業による行政との太いパイプづくりによるクラブ経営を話されました。

研修会の後半は、参加者 28 人が、5 つのグループに分かれて、研究協議を行いました。「自主運営をめざした魅力的な事業展開」をテーマに、こんな事業があったらというアイデアを出し合っていました。参加者が置かれている環境の違いがあるので、何を目的にするか、対象をどのように設定するかなど様々でした。



各グループからのお勧め事業を紹介しますと、

- スポーツ教室とクッキング教室を抱き合わせた事業
- 子育て中の保護者の参加を促す「ナイトウォーク」や「サイクリング」など
- 行政が運営する放課後子ども教室に入室できないこどもたちの受け皿教室
- 3 世代交流を目的とした「キッズ運動教室」

などです。自由な発想で話し合うことで、自分がかかわっているクラブをふり返ることができ、また、これから立ち上げる人にも参考になったようです。

平成 29 年度第 2 回女性スポーツ指導者・リーダー研修会「スポーツの絆 WOMAN 和ークル」開催 遊びで脳を動かす！

1 月 13 日（土）、やまぐちリフレッシュパークで、第 2 回「スポーツの絆 WOMAN 和ークル」を開催しました。この研修会は、スポーツにかかわる女性やリーダーの研鑽や情報交換を目的としています。講師の玉川大学難波克己教授による運動遊びの実技と理論を学び、心と体をしっかりと動かすことができました。

49 人の参加者は、PA（プロジェクト・アドベンチャー）の第 1 人者である難波教授から、様々なアクティビティを活用して、「人とのかわり方とは何か」、「心を動かすことで見えてくることは何か」などのご示唆をいただくことができました。

寒い中ではありましたが、参加者は、6 つのグループに分かれて、スポーツで女性ができることについても話し合いました。男性指導者が中心であるスポーツ界ですが、女性ならではの出番があります。

子どもたちの不安を和らげ、体の面でもサポートしていく女性指導者の役割はこれからますます重要になってきます。運動遊びで、人との心の距離をどんどん縮めることができることを体感された参加者からは、心を育てることをもっと大切にしていきたいとの感想がたくさん寄せられました。

わくわく（輪く和く）通信

山口県広域スポーツセンターだより

Vol.20

2018.2



▲だれとでも集まって、指をつなげると・・・



▲一本のロープを引っ張り合うことからわかること



人がつながる 人でつながる 人がつくる

総合型地域スポーツクラブが量より質の転換を求められています。地域に根ざしたクラブの経営や活動を支えるのは人…

このコーナーでは、各コーディネーターがインタビューをして、人を紹介していきます。

NPO 法人 Goppo ええぞなクラブ会長 中野久治氏

設立12年目を迎えた「Goppo ええぞなクラブ」の中野会長さんにお会いしました。当クラブは、平成29年度文部科学大臣表彰を受けられ、ますます元気な活動をされています。

中野会長さんに、幼少期からのこともお聞きし、家族で家業にかかわった経験が、今のクラブ経営に活かされていると感じました。

中野会長さんとスポーツのかかわりは？

小学生のころは、スポーツらしいことはしていませんでした。中学校でソフトテニスをしていましたが、高校では写真部。家に早く帰って、家族みんなで農業する毎日でした。ですから、遊んでいる友達のことをうらやましく思ったこともありました。

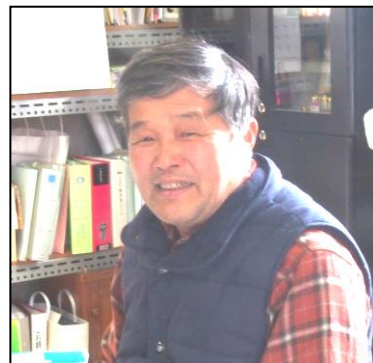
自分の子どもが野球を始めたときに、交歓行事の際に、子どもたちを遊ばせないかと考え、約20年前に、レクリエーション指導の資格をとり、そのことが今のクラブづくりにつながっています。

クラブ設立にかかわるようになったきっかけは？

宇部市からレクリエーション関係者に対して、総合型クラブ設立の勧めがあり、以前から総合型クラブに関心があったので、地域の人と一緒にこのクラブを立ち上げました。今では、高齢者を対象にした「貯筋運動」や「操体法」、部活の補完として中学生を対象にした「剣道教室」など、200人を超える会員に支えられて毎日のように活動しています。

中野会長さんの夢は何ですか？

このクラブがずっと続くようにするために、後継者を含めて「人づくり」をしていくことです。これまで、私自身が多くの人に会うことで、クラブにかかわるきっかけになったり、クラブの魅力を広げるために外部団体との関係をもつことができたりしました。人との出会いを作ることも楽しみであり、夢になっています。



IDBスポーツクラブ理事長 原田 美智子氏

今回は、岩国市で活動するIDBスポーツクラブ理事長の原田さんにお話を伺いました。平成18年2月に設立したクラブでハンドボールを中心に活動しており、“ここが居場所であり、いつでも帰って来られる場所”となるクラブを目指しています。

クラブ設立のきっかけは？

2002年、岩国商業高等学校ハンドボール部50周年記念式典開催に向けて、岩国商業高等学校のOGが集まった際に、恩師である佐倉弘之甫先生（現岩国市教育長）の「子どもたちにハンドボールを教えるぞ！」が、きっかけの言葉でした。岩国商業高等学校OGから始まった活動は、岩国工業高等学校OBの方々の力も加わり、『ハンドボール大好き！』な人や子どもたちを増やしていきました。

クラブ名の由来は？

I（いわくに）D（どりーむ）B（ぶりっじ）の頭文字です。活動をしていくことで、岩国の夢の架け橋になりたいという思いを込めて、佐倉先生が名付けられました。

クラブの今後の展望について教えてください

東京オリンピック出場を目指している、IDBスポーツクラブ出身の子どもたちがいます。さらに、その先の未来へ夢を膨らませている子どもたちもいます。そんな子どもたちを、ずっとずっとサポートできるクラブの在り方を模索しています。いつまでも、元気で笑顔いっぱい、温かく、優しく、夢を紡ぎ、夢を繋げることができるクラブであり続けたいと思っています。



【やまぐち広域スポーツセンター問い合わせ先】

東部広域スポーツセンター(徳山大学内)	TEL 070-5305-0674	
中部広域スポーツセンター(山口県体育協会)	TEL 083-933-4697	FAX083-933-4699
西部広域スポーツセンター(東亜大学内)	TEL 070-5305-8917	